

製品名: CYLD マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM86045**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,FC 1:25-1:50
分子量	107.3kDa

抗原情報

遺伝子名	CYLD Ubiquitin carboxyl-terminal hydrolase CYLD, 3.4.19.12, Deubiquitinating enzyme CYLD,
別名	Ubiquitin thioesterase CYLD, Ubiquitin-specific-processing protease CYLD, CYLD, CYLD1, KIAA0849
遺伝子 ID	1540.0
SwissProt ID	Q9NQC7
免疫原	この CYLD 抗体は、ヒト CYLD 由来の 305 ~ 582 アミノ酸からなる KLH 結合合成ペプチドで免疫化されたマウスから生成されます。

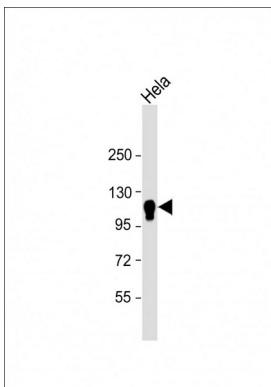
背景

Lys-63 結合型ポリコヒキチン鎖を特異的に切断するプロテアーゼ。エンドデユヒキチン化酵素活性を有する。NF- κ B 活性化経路の調節において重要な役割を果たす (PubMed:12917689、PubMed:12917691)。NF- κ B 活性化への影響を介して、細胞の生存、増殖、分化の調節に寄与する (PubMed:12917690)。Wnt シグナル伝達の負の調節因子である (PubMed:20227366)。HDAC6 を阻害することで、 α -チューブリンのアセチル化と微小管の安定化を促進する (PubMed:19893491)。微小管ダイナミクスの調節に関与し、細胞増殖、細胞分極、細胞遊走、血管新生の調節に寄与する (PubMed:18222923、PubMed:20194890)。正常な細胞周期の進行と正常な細胞質分裂に必要である (PubMed:17495026、PubMed:19893491)。NF- κ B の核移行を阻害する。NF- κ B 活性化に作用し、炎症と自然免疫応答の調節に関与する (PubMed:18636086)。胸腺内ナチュラルキラー細胞の成熟には必須ではないが、未熟なナチュラルキラー細胞の生存には必須である。TNFRSF11A シグナル伝達と破骨細胞形成を負に制御する (類似性による)。繊毛形成の調節に関与し、繊毛基底小体の移動と細胞膜へのドッキングを可能にします。このプロセスは NF- κ B の活性化に依存しません (類似性による)。

研究分野

Wnt シグナル伝達経路

画像データ



抗 CYLD 抗体 (1:4000 希釈) + HeLa 全細胞ライセート